

就任のごあいさつ



企業長(北本市長)
三宮 幸雄

木々の緑が色鮮やかな初夏の季節となりましたが、市民の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃、市民の皆様には、水道事業につきまして深いご理解、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、私は、令和元年5月に北本市長に就任して以来、副企業長として水道事業に携わってまいりましたが、この

たび令和3年5月1日をもって企業団の企業長に就任いたしました。

水は、生命を維持するだけでなく、市民生活や社会経済活動を支える重要なライフラインであります。それだけに、安全で安心な水道水を安定的に供給することが、最大の責務であると感じております。

近年、地震や豪雨等による自然災害が頻発していること

から、災害に強い水道施設を構築することが求められております。

しかしながら、給水人口の減少や高度経済成長期に整備した水道施設の大規模更新の時期が迫っており、水道事業を取巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

このような状況においても、「災害に強い、安全安心な水道施設」を構築するため、

水道法で掲げる「経営基盤の強化」を図ると共に、水道事業基本計画（水道事業ビジョン）の基本方針「市民から信

頼されつづける水道」の実現を目指して、副企業長共々最善の努力をいたす所存でありますので、なにとぞ市民の皆様により一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そして、就任の挨拶といた

副企業長(桶川市長)
小野 克典



日頃より水道事業に対し、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、平成25年に桶川市長に就任して以来、水道事業の運営に携わってまいりましたが、三期目の桶川市政を担当させていただくのを契機に、令和3年5月1日より三宮北本市長と企業長を交代し、副企業長に就任いたしました。人口減少・少子高齢化社会

の進行、さらには近年頻発する自然災害や未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症の影響により社会が大きく変化する中、公共インフラの中でも水道は必要不可欠なものであり、社会の根幹をなす水道水を安定的に供給することが最大の使命だと感じております。

水道事業は「拡張」から「維持管理」へ、そして、「持続」

への転換期を迎え、現在は「経営基盤の強化」が求められております。

その一方で、少子高齢化や節水型社会の到来により水需要が減少し、水道事業経営は非常に厳しくなると予測されますが、老朽化した水道施設の更新や石綿セメント管更新事業等の施策を実施して行かなければなりません。企業団では、水道施設の長

寿命化を図りつつ、「SDGs」の理念に基づく持続可能で強靱な質の高い水道を目指すと共に、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、微力ではございますが企業長共々誠心誠意努めてまいりますので、なにとぞ市民の皆様のご

指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任にあたっての挨拶といたしま